



くすの



令和8年 1月30日

第11号

八王子市立高嶺小学校

校長 松久保 雅和

URL <http://hachioji-school.ed.jp/takne>

学校所在地 八王子市北野台四丁目21番1号 Tel 042-635-6366

学力と非認知能力

校長 松久保 雅和

日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力を賜り大変感謝しております。3学期も円滑にスタートすることができました。子どもたちは日々自分で考え、友達と協力しながら解決していく力を高めていると感じます。それは知識や技能だけでなく、探究する力の向上、体験的な活動の充実いわゆる「新しい学力観」が伸びている成果であると考えます。「学力」と聞くと、テストの点数や知識の量を思い浮かべる方も多いかもかもしれません。しかし、社会の変化が大きく、先の見通しが立ちにくいこれからの時代においては、それだけでは十分とは言えません。自ら問いを立て、考え、他者と協力しながら答えを探していく力こそが、これからの学力として一層重要になると考えています。

こうした力と深く関わっているのが、いわゆる「非認知能力」です。非認知能力とは、数値では測りにくいものの、学びや生活の土台となる力のことです。本校では、その中でも特に「主体性」「協調性」「粘り強さ」の三つに着目しています。自分から学ぼうとする姿勢、仲間と対話しながら学びを深める力、うまくいかないときにも挑戦を続ける力。これらを高めることで、子どもたちの「探究する力」が伸び、結果としてこれからの学力が大きく育つのではないか、という仮説のもと、日々の授業や教育活動を進めています。

先日の学校公開では、本校の研究とタイアップし、日頃からご協力いただいているリーフラス株式会社の市川さんをお招きし、講演会を実施しました。非認知能力を意識した学びの大切さや、家庭や地域での関わりが子どもの成長に与える影響について、具体的なお話をいただく貴重な機会となりました。お聞きになった皆様はいかがお感じになったでしょうか。ぜひご感想やご意見をお聞かせください。

子どもたちの学びは、学校だけで完結するものではありません。保護者の皆様、地域の皆様に本校の考えや取組をご理解いただき、温かく、そして時には一緒に考え、関わっていただくことが、子どもたちの力をさらに伸ばすことにつながります。今後も、学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちの未来を支えていければと思います。どうぞ引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

